

校長 鈴木 雄詞

長い夏休みが終わりました。子どもたちは、家族や友人とのきずなを深めた楽しい思い出や、いろいろなことに挑戦し成長できた喜びを抱えて登校してきたことと思います。私たち教職員も、気持ちを新たに子どもたちのために頑張ります。一層のご理解とご支援をよろしくお願いします。

災害から学び、備える

熊本地震、そして、千葉県をはじめ各地で発生した豪雨災害により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興・復旧と平穏な生活が戻りますことを願っております。

異常気象が続く中、自然災害は、これまで以上に、いつ、どこで起こるかわかりません。だからこそ、学校では、防災について考える機会を大切にし、自分や大切な人の命を守るために「どのように行動すればよいか」を子どもたち自身が考え、判断する力を育てていきたいと思っています。

ご家庭におかれましても、災害に対する備えについて日ごろから話し合い、共通理解を図ることも大切です。子供たちの明るい未来を守るために、学校、家庭、地域で共に頑張りましょう。

「ど」から始まる疑問詞に答えられる力をつけたい

6年生が行った全国学力学習状況調査の結果をもとに、教務主任が分析を行い、今後本校の学習指導において力を入れていく点を以下のように明らかにし職員で共有しました。

- ①提示された条件をしっかりと読み込み、条件の中身を理解する力
- ②資料に書かれている内容から必要な情報を選択したり、条件を満たすための処理をしたりする力
- ③考えて導き出した自分の考え（答え）と合わせて、その考え（答え）にいたった理由を筋道立てて説明する力

これらの力をつけるためには、各教科の授業での意図的な指導が大切ですが、日常会話の中でも、大人が意図的に使いたい問いかけ方があると考えます。それは、「どんな？」「どうやって？」「どうして？」「どれ？」「どう？」といった「ど」から始まるファジーな「問いかけ」です。こういった問いかけに的確に答えるためには、根拠を明らかにしたり、考えを整理し筋道を立てたりしてから話す必要があります。ぜひ、ご家庭でも意図的にこれらの疑問詞を使って問いかけていただき、答え方を子どもたちと一緒に考えてくださるとありがたいです。



※イラストは、生成 AI を活用して製作しています。